

冬の日帰りバスハイク

—東京連合支部—

東京連合支部は、2023年度行事として12月7日に栃木県の(株)小松製作所(以下コマツ)の小山工場と隣接する栃木工場並びに宇都宮市の「大谷石」採掘の歴史を伝える大谷資料館のバス見学会を開催した。

当日は、三上前理事長や小西埼玉県連合支部長や植竹横浜支部長にも参加いただき、総勢26名で東京駅丸ビル前から大型バスにて出発した。

コマツの見学は、まず小山工場の会議室で会社概況等の説明があり、同社は売上3.5兆円で海外売上が何と90%を占める。その後、ヘルメット・イヤフォン・保護グラスを着用して、小山工場のディーゼルエンジンとEVエンジンの混流生産ラインを最初の部品の組立から完成するまでを見学できた。次に栃木工場では、フォークリフトと小型建機の混流生産を、最初のパーツの組立の段階からエンジンの取り付け、タイヤの取り付け、最終検査までの一連の生産ラインを見学できた。世界トップ企業のものづくりに触れて感動し、スタッフの皆さん(男性1名、女性3名)の親切な対応と分かり易い説明で大変有意義な見学ができた。

昼食は宇都宮餃子館で、名物の餃子コース料理を食し、足早に次の見学先の大谷資料館に向かった。

大谷資料館は急な階段を50段程降りた地下の巨大空間で、採掘は大正8年から昭和61年までの約70年間行われた。手掘りが40年続き、その後30年は機械掘りで大きな石柱にその採掘跡の模様が見て取れて感動した。館内には地上からの木漏れ日に映える教会ウェディングスペース(下の写真、普段は一般公開されていませんが、今回見る事ができてラッキーでした。)や音響効果抜群のコンサートステージもあり、幻想的で芸術的な空間でした。

小春日和の一日で、栃木路を満喫できたバスの旅でした。
(連合支部長 伊藤吉晴 47W)



大谷資料館内の教会ウェディングスペース



(株)小松製作所小山工場にて